

個別医療機関ごとの 具体的な対応方針について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

具体的な対応方針の概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 本圏域において策定の対象となる36医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）から本調査への回答協力が得られた。

2025年に担う役割と機能別病床

令和3年2月1日時点の内容に更新

内容変更：2医療機関

着色欄：新たに回答のあった医療機関及び変更事項のあった医療機関

赤字下線：昨年度の内容から変更のあった箇所

具体的対応方針の概要② ～非稼働病棟の今後の見通しと解消状況～

- 本圏域において、2020年7月1日時点で昨年に続き稼働していない、もしくは回答がない医療機関は7箇所であった。

非稼働病棟（病床が全て稼働していない病棟）について

- ・ 昨年度作成した一覧表について2020年7月1日時点で調査をした結果に基づき、本圏域に係る情報について内容を更新
- 「非稼働病棟の今後の見通し等」の一覧表の状況説明
 - 継：昨年の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関
 - 新：今年度の報告で非稼働病棟があると新たに回答があった医療機関
 - 未：今年度の状況について回答がない医療機関
- 「非稼働病棟の解消状況等」の一覧表の状況説明
 - 全部：今年度の報告で非稼働病床をすべて解消したと回答があった医療機関
 - 一部：昨年度の報告で非稼働病棟があると回答があった医療機関のうち、今年度の報告で非稼働病棟が確認できなかった医療機関

具体的対応方針の変更時の報告のお願い

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）に基づき、毎年度、個別の医療機関における2025年における具体的対応方針について協議する必要がある。

国の求めの対応として、毎年、地域医療構想調整会議において、すでに策定いただいている各医療機関毎の具体的対応方針の内容について、整備計画変更時にご報告いただき、一覧の内容を更新していくこととしたい。

具体的対応方針の未策定、対応方針の変更、病床機能の変更を伴う施設整備に変更が生じた場合には本調査への御協力をお願いしたい。

具体的対応方針の変更等があった場合は、令和元年8月20日付け健福第758号「2025年における医療機関ごとの具体的対応方針の今後の協議の進め方及び手続き等について（依頼）」に基づき必要な手続き等をお願いします。

※千葉県ホームページから調査票(エクセル)がダウンロードできます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

No.	医療機関名	2025年に担う役割（予定を含む）										2025年における機能別病床数					機能変更の理由等	補助金活用予定				
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期			慢性期	計	休棟等	移行予定
27	医療法人社団三恵会育生医院										○						9				感染予防の観点から3人部屋を個室に改築(2020)	
28	永吉の眼科										○	眼科専門						18				
29	医療法人社団恵洋会上茂原診療所										○			4			4					
30	医療法人餘慶会小高外科内科	○	○	○	○						○					19	19					
31	医療法人社団昌健会みんなのライザポートクリニック大網										○			5			5					
32	医療法人社団明生会東葉クリニック大網脳神経外科		○								○	透析		19			19					
33	医療法人社団謙聖会吉田外科内科											未確認								休床中(稼働未定のため2025年の機能別病床数の見込みも未定)		
34	医療法人社団もりかわ医院										○			12			12					
35	一般財団法人千代田健康開発事業団付属診療所			○	○						○			10			10					
36	医療法人社団南洲会勝浦整形外科クリニック										○	骨、筋肉、四肢関節、脊椎などの運動器の外傷、加齢にともなう変性疾患、関節リウマチなどの炎症性疾患などに対する手術治療も行う専門医療機関		19			19					

注1 「補助金活用予定」欄については、回復期リハビリテーション病棟等整備事業（回復期リハ、地域包括ケアへの転換）又は地域中核医療機関整備促進事業（地域の中核となる公的医療機関等のみ対象）の活用を検討している（又は現在補助を受けている）医療機関に○をつけています。

注2 前回報告時以降、具体的対応方針に変更があった医療機関の列を着色（薄緑色）しています。

注3 前回報告時以降、変更があった個所について、赤字下線としています（医療機関名の変更のみの場合を除く）。

注4 一覧表に記載の「2025年に担う役割」「2025年における機能別病床数」に変更があった場合は、県まで報告をお願いします。

病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	地方独立行政法人さんむ医療センター
医療機関名	地方独立行政法人さんむ医療センター
所在地	千葉県山武市成東167
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前											
変更後											
その他の内訳 及び補足等											

3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	199 床程度	199 床	
高度急性期	床	床	
急性期	119 床程度	115 床	
回復期	80 床程度	84 床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

さんむ医療センター建替基本計画（平成31年3月）に基づき、2025年時点の内訳を急性期115床・回復期84床（合計199床）とする。
--

本計画の位置づけ

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成22年3月末をもって組合立国保成東病院が解散し、同年4月から運営を開始しました。救急医療や住民が求める医療サービスの提供に努めるとともに、地方独立行政法人制度の特徴を生かして、サービスの向上と経営の効率化等に積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに最大限に応えていくことを使命としています。

現在の病院施設は、増築と修繕を繰り返し現在に至っているところであり、病院・設備の先進医療に対応する機能が低く、老朽化及び狭小化、駐車場の狭さ、また、南棟は昭和56年6月1日以降の新耐震基準を満たしていない、建築基準法上の不適格建築物となっています。このことから、第3期中期目標・中期計画において医療・保健・介護を健診から在宅までを含めて三位一体で切れ目なく地域住民に提供し、安心して暮らすことが出来る環境を整備するため、機能を発揮する手段としてふさわしい施設整備を検討することとしています。

本基本計画においては、平成29年8月に策定した基本構想を受けて、新病院の役割を「コミュニティホスピタル」というコンセプトに基づき具体化し、合わせて、その実現に向けて、現地建て替えや移転新築などの整備手法をより具体的に比較検討しました。

患者さんに信頼され、地域に必要とされる、真の「コミュニティホスピタル」の実現。
急性期医療から在宅医療まで幅広く提供する医療機関を目指します。

「コミュニティホスピタル」を実現する基本方針

①急性期医療への対応

- ・外科・整形外科を維持・強化するため、手術室やリハビリスペースの充実を図る。
- ・内科は総合内科を強化するとともに、高齢者ニーズの高い消化器内科・呼吸器内科の充実を図る。
- ・循環器・神経系等の重症疾患は近隣医療機関との連携を強化。

②二次救急医療の充実

- ・地域医療機関と連携し、二次救急業務体制の充実を図り、地域住民が安心して暮らせる街づくりの一端を担う。

③がん医療への取り組み

- ・地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院との連携のもと、通院化学療法への拡充、緩和ケア医療の充実を図る。

④周産期医療の充実

- ・地域の周産期医療の中核として、通常分娩および緊急時の対応。
- ・急変時への治療に対応可能な環境の整備。

⑤災害時の医療協力と役割

- ・地震、津波、台風、大規模事故などの災害対策体制を確立する。
- ・災害発生時には医療救護活動を行うと共に、災害医療の拠点となり、BCPIに基づき医療の提供に努める。

⑥感染症への取り組み

- ・平時より感染症患者の受け入れや院内感染対策を講じるとともに、パンデミックが発生した際にも地域から感染症患者の受け入れ体制を確保し、安心して暮らせる街づくりに貢献する。

⑦地域医療機関との連携

- ・診療所・在宅医からの入院要請に対し、24時間対応で受け入れる連携体制の確立。
- ・近隣医療機関での亜急性期の患者の受け入れ。

⑧在宅医療・訪問看護サービスへの取り組み

- ・機能強化型在宅療養支援病院の指定の取得による在宅医療の推進。
- ・訪問看護ステーション、地域包括ケア病棟の充実による、在宅急変時の受け入れ・往診・看取りへの対応。

⑨かかりつけ医・家庭医機能への取り組み

- ・家庭医・総合医によるこどもから高齢者までの1次対応。
- ・保険・医療・福祉の三位一体運営を目指し、学校健診・住民健診・健康教室・予防接種等への積極的な関わり。

⑩総合診療医の育成

- ・全人的医療を提供し、地域医療のレベル向上へ貢献するため総合診療医の育成の強化。

⑪リハビリテーションへの取り組み

- ・入院初期からの急性期リハビリテーション、在宅リハビリテーションの強化。
- ・ST・歯科衛生士による嚥下訓練や口腔ケアの充実。

⑫医療情報システムと地域ネットワークシステムの構築

- ・院内医療情報システムの整備と、地域医療機関とのネットワークの構築による病診連携・病病連携。

⑬遠隔カンファレンスの実施

- ・テレビ会議等による、大学病院等とのコミュニケーション強化。

⑭外部委託との連携

- ・売店やレストランなどのアメニティ施設の外部委託による、サービスの充実を図る。

計画概要

- 病床数：199床（機能強化型在宅療養支援病院取得）
 - 一般急性期病棟 95床程度
 - 回復期リハビリテーション病棟 36床程度
 - 地域包括ケア病棟 48床程度
 - 緩和ケア病棟 20床程度
- 計画地：近隣敷地への移転新築
- 建物規模：約15,916㎡ 5階建 程度を想定
- 診療科：現病院同様

施設整備計画

■新施設整備方針

- ① 利用者に優しい病院
- ② 職員が働きやすい病院
- ③ 変化に対応可能な病院
- ④ 効率的な運用を考慮した病院
- ⑤ 災害に強い病院

■位置図



事業スケジュール

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
事業段階	設計/施工者選定	新棟設計・申請	新棟建設	引越	新病院運営

* 計画概要および事業スケジュールは現段階での想定です。今後の計画により、変更となる可能性があります。

概算事業費

■概算事業費

区分	事業費（税込）	備考
解体工事費	6億円	既存病院の解体費、埋戻し費、廃棄物処理費
建設工事費（病院本体）	70.5億円	199床×454千円/㎡、浄化槽整備費
土地購入費、造成費、外構工事費、工事雑費	7.4億円	約34,800㎡
設計・工事監理費等、調査・測量費等	5.36億円	
医療機器、什器備品、情報システム整備費	12億円	
開院準備費	1億円	移転費、建設推進費、雑費
計	102.26億円	

病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団三恵会
医療機関名	育生医院
所在地	千葉県茂原市八千代 2-12-14
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

2 2025年において担う役割（昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前								○			
変更後								○			
その他の内訳 及び補足等											

3 病床機能及び入院料（昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載）

	変更前	変更後	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	
高度急性期	床	床	
急性期	11 床	9 床	有床診療所入院基本料 1
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	
廃止予定	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	

4 病床機能を変更する理由等（機能別病床数を変更する場合のみ）

産後ケア事業実施目的で変更した。 感染予防の観点より、3 人部屋を個室に改築した。
--

非稼働病棟（2020年7月1日時点）の今後の見通し等

【山武長生夷隅保健医療圏】

No.	状況	医療機関名	非稼働病棟数	病棟の病床数	病床種別	今後の見込み	(対応方針未定の項目については空欄)				再稼働するための課題等						
							対応予定時期	病床機能	入院料	診療科	人員不足			患者減少	施設老朽化	その他	備考
											医師	看護師 職員	その他				
【病院】																	
1	継	東千葉メディカルセンター	2	14	一般		2025年4月					○	○			○	2014年に部分開院した病院であり、314床の全部の稼働にあたっては、医師・看護師等の医療従事者の確保、医療需要の動向、病院経営の効率性・安全性等を確保した上で、計画的に実施することとしている。現行計画においては、2025年4月時点で、全部の稼働としているが、早期の開床も含めて柔軟に対応していくこととしている。
				24	一般		2025年4月										
2	継	医療法人社団徳風会高根病院	1	5	療養	未定											
3	継	公立長生病院	1	52	一般	未定						○	○	○	○		公立長生病院日棟の老朽化により病棟としての使用が困難となっている、また、外科医師の減少から入院患者数も減少しているため、現在休床している。
4	未	医療法人SHIODA塩田記念病院	1	6	一般	再稼働	2022年10月	急性期	急性期一般4	脳神経外科・循環器内科・整形外科・婦人科・内科		○					紹介会社やワーク、看護学校訪問等を駆使して看護師を採用したが、退職者が出たため、再稼働できなかった。
5	継	医療法人SHIODA塩田病院	1	7	一般	未定						○					看護職員の確保が困難（就業支援金、借り上げ寮なども対策をとっており、就学に対して奨学金制度を勧めたり、使えるサイト、紹介会社なども利用しているが、問合せそのものが少ない）
【診療所】																	
6	継	医療法人社団謙聖会吉田外科内科	1	19	一般	廃止						○					将来の病床廃止を検討
7	新	永吉の眼科	1	18	一般	未定	2022年4月					○					医師高齢のため

注1) 「状況」欄の記載は以下のとおりとする。

- 継 … 昨年度の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関
- 新 … 今年度の報告で非稼働病棟があると新たに回答があった医療機関
- 未 … 今年度の状況について回答がない医療機関（※ 記載内容は昨年度の報告内容を参考として記載）